

編集後記

毎回のことながら、印刷・製本屋さんと打合せを行い、原稿を引き渡しホットした瞬間、もう次号の心配が湧いてきます。「今回はともかく次回は原稿が集まるだろうか？」というものです。今までは全て杞憂でしたが

ただ、今までが杞憂だったからと言って次回もそうだと保証はありません。なにしろいつも固定に近い方に書いて頂き、しかも皆さん高齢者。さらに幾つかのシリーズものとして続いた「千里山線を駆けた電車」や「千里山時代のあそび」も終焉を迎えました。

サザエさんに登場するノリスケさんの心境が良く解りません。

この会誌は、皆様から寄せられた原稿で成り立っているのですが、やはり多少の舵取りは必要かと思っております。

そこで今回は新たなシリーズとして「お役に立てば」と「エーほんと?」を始めました。前者は、健康・病気や自然

災害への防災・減災、その他、振りこめ詐欺・高額商品販売への対策等日常生活に役立つものをご提供できれば と思つて始めました。後者は千里山に関する事で意外な事実をご披露出来れば と思っております。

いずれにせよ私自身がそれらの知識・見識を有しているのではなく、皆様の「ご協力を得なければ何もできません。よろしく願います。」

また別途、来年の特集として「千里山の団塊世代」を掲げたいと思っております。31回生、33回生の皆様が対象です。これからの千里山会を支えていただくだく世代です。

男女共に少し時間的余裕が生じたころかな?と期待しております。今年中にも皆様(団塊世代)に葉書を出させていただけますのでよろしく願います。

その他、千三小卒及びその方々と同学年の千二小卒の皆様
の千里山会への積極的参加(総会出席&会誌への原稿提供)を期待しております。

(萩原 記)